

見せたい人だけに見せて趣味の仲間と盛り上がろう!

ビデオ作品を見せ合うための

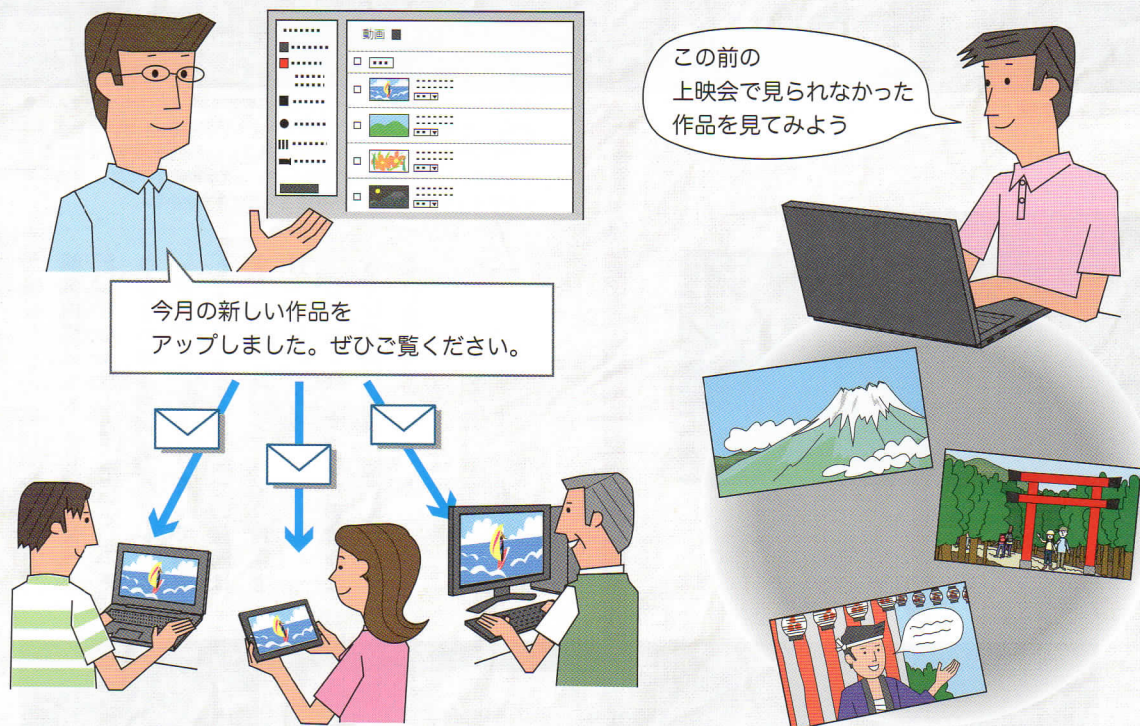
# YouTube活用術

YouTubeならいつでも簡単にビデオをアップロードし、交通費や郵送費をかけずに、遠方に住む人にも高画質で作品を見てもらうことができる。

「限定公開」機能を使えば見せたい相手にだけ見せることも可能。

YouTubeを使ってビデオ仲間との交流を活性化させよう!

文：編集部 イラスト：清水ツユコ



**見せたい人だけに見せて楽しむこともできる**

動画共有サイトYouTube（ユーチューブ）を知らないという方はほとんどいないでしょう。ビデオサロンのウェブサイトで本誌と連動した動画を多く掲載していますから、きっと一度くらいは見たことがあると思います。

ですが、自分のビデオ作品をアップロード（公開）すると、少し抵抗を感じる場合もあるのではないのでしょうか。ユーチューブ＝世界中の動画が見られる、世界中の人に動画を見てもらえるというイメージがありますから、「知らない人にまで作品を見られてしまうのはちょっと…」と思うこともあるかもしれません。

でも実は、世界中の人に公開しなくても、仲間内だけでユーチューブを楽しむことはできるのです。そこで今回の特集では、「見せたい人だけに見せる」ということをポイントに、「ビデオ仲間との交流を活性化させる、これまでは少し違ったユーチューブ活用術を紹介したいと思います。



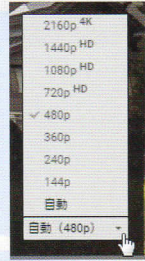
# [YouTubeで作品を共有すると何が便利?]

## 1. DVDより画質がいい場合も

いまだに作品をDVDに保存している人は少なくないが、書き出しの設定などで本来の画質よりずっと低画質に仕上がってしまうことがある。YouTubeなら特に設定をしなくても画質が大きく落ちることはない。

## 2. 4Kでもアップできる

ハイビジョンで撮影してDVDに記録したり、4Kで撮影したのにブルーレイに記録したのではせっかくの画質が犠牲になってしまう。YouTubeならハイビジョン映像はハイビジョン、4K映像は4Kのままアップし、ネット回線の速度に合わせて解像度を落として再生できる。



## 3. 遠方の人にも見せられる

遠方に住む人や普段なかなか会うことができない人にも、作品が完成したらすぐアップしてすぐ見てもらうことが可能。交通費やディスク代、送料もかからない。

## 4. すぐ修正して再投稿できる

人から意見をもらったり「あそこは変更したい」と思いついて作品を修正する場合も、新しい作品のディスクを送ったり、次の会合の開催を待つことなく、すぐにアップして見てもらうことができる。



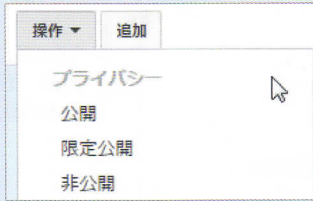
## 5. 作品を保存しておける

YouTubeには何本でも作品を保存しておける。自分の作品はもちろん、ビデオクラブなどのグループなら会員の作品をまとめてアップロードしておいて、会員が自由に過去の作品を振り返れるようにしてもいい。

## 6. 好きな時に家で見られる

都合が悪くて上映会に行けなかった時も、YouTubeに作品をまとめておいてもらえば、いつでも好きな時に家で鑑賞することができるし、コメントを残すこともできる。

## 7. 知り合いにだけ見せられる



YouTubeに動画をアップする時は公開範囲を「公開」「限定公開」「非公開」から選んで1ファイルごとに設定できる。広く一般に見せるのではなく身近な知り合いにだけ見せたいという場合なら「限定公開」を選べばいい。

**簡単に綺麗な画質で公開し  
いつでもどこでも見られる**

YouTubeに動画をアップする時は公開範囲を「公開」「限定公開」「非公開」から選んで1ファイルごとに設定できる。広く一般に見せるのではなく身近な知り合いにだけ見せたいという場合なら「限定公開」を選べばいい。

ユーチューブなんて使わなくても、DVDやブルーレイに焼いて直接渡せばいい、ビデオ仲間との集まりや上映会に行けば充分だと思われるかもしれませんが、もちろん、同好の士と集まって作品を鑑賞し合い、ああだこうだと議論を交わす楽しさに勝るものはないでしょう。ただ、ユーチューブにも利点があります。

例えば画質。ブルーレイに綺麗な画質で保存できればよいですが、カメラはハイビジョンでも人に配布する時にはまだDVDを使っているという人もいますし、渡す相手がブルーレイの再生環境を持っていないということもあります。また書き出しの設定の問題なのか、せっかく良い作品なのに、かなり画質が劣化してしまっているDVDも頻繁に見かけます。さらに、4K撮影をしても現状ではブルーレイに4Kで保存することができません。

ですが、ユーチューブならほとんどの場合、難しい設定をしなく

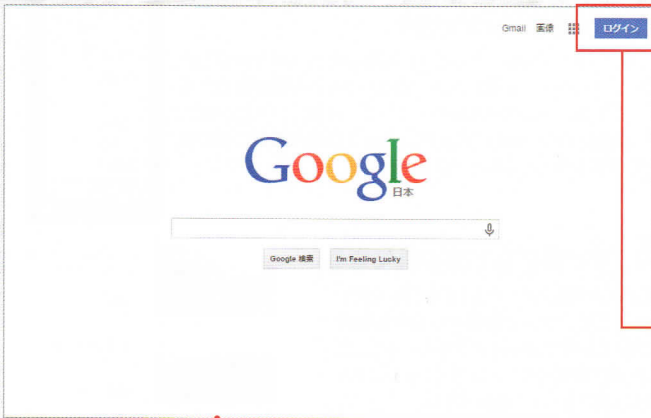
てもただファイルを選択するだけで綺麗な画質でアップロードすることが可能です。しかもフルHDならフルHD、4Kなら4Kのままアップロードされます。4Kの場合、インターネット回線やパソコンの能力によりスムーズに再生できないこともあります。環境に合わせて解像度を落として再生することもできますし、元のサイズのままアップできるというのは魅力的です。

また、ネット環境があれば、「複数の人が同時に」「いつでもどこでも見られる」というのもメリットです。定期的な集まりに参加できなかった時にも、作品がユーチューブにまとめられていれば後から見ることができ、遠方に住んでいても参加できるのは嬉しいことでしょう。逆に、次の集まりの開催を待たずに自分の作品を載せて、すぐに見てもらいたいということも可能です。

これだけなら自分のウェブサイトで作品を公開するのが変わらないのですが、今回のポイントは「見せたい人だけに見せる」こと。ユーチューブにアップする時に



# [Googleアカウントを作ってYouTubeに登録する]



グーグルトップページ  
<https://www.google.co.jp/>

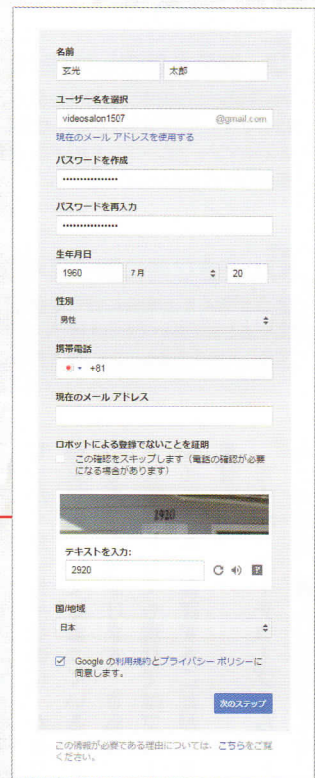
① Googleのトップページにアクセスし、ページ右上にある「ログイン」をクリックする。

ログイン



アカウントを作成

② ログイン画面が表示されるので、その下にある「アカウントを作成」をクリックする。



③ 「Googleアカウントの作成」というページが表示されるので、右側の欄に必要な情報を入力する。携帯電話番号と現在のメールアドレスは入力なくても登録することができる。「ロボットによる登録でないことを証明」という箇所は、画像に表示されている数字や文字を下の欄に入力する。最後に「次のステップ」をクリックして進む。



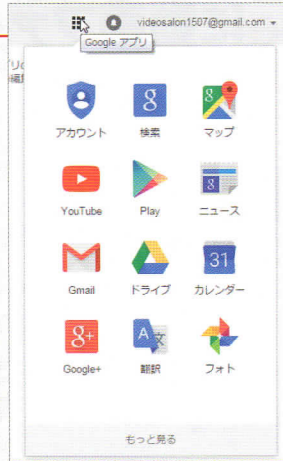
まずアップロードの前に必要なのは「グーグルアカウント」の作成です。ユーチューブを運営するグーグルという会社はインターネット検索サービスで知られていますが、他にもウェブメールやソーシャルネットワークサービスなどを運営しており、このアカウント

**アップロードにはグーグルのアカウントが必要**

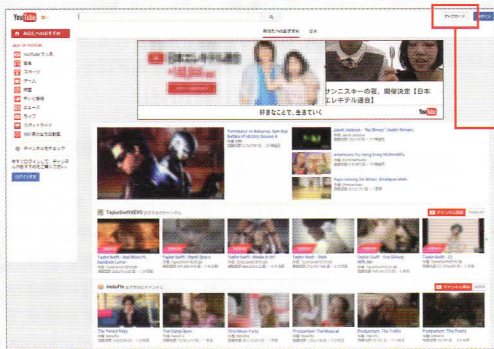
では、ユーチューブにビデオをアップロードする手順を見ていきましょう。今回はグーグルのインターネットブラウザ「クローム」を使用しています。

「限定公開」を選ぶと、そのアドレス（URL）を教えた相手だけが動画を見ることが出来ます（P47参照）。つまり、見ず知らずの人には見えてほしくないが、特定の知り合いには見えてほしい…そういう使い方もできるのです。限定公開でもコメントを書き込むことはできませんから、ビデオ仲間だけにアドレスを伝えれば、普段の会合や上映会の延長のような形で意見を交わすこともできるのではないのでしょうか。



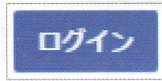


④登録が完了すると左のような画面が表示される。小さな■が9つ並んだ部分をクリックするとGoogleのアプリケーションが表示されるので、その中から「YouTube」を選んでクリックする。



アップロード

⑥今度はトップページ右上の「アップロード」をクリックする。すると「YouTubeでチャンネルを作成」という画面が表示される。性別と誕生日を設定して「続行」をクリックすると、アカウントと同じ名前でチャンネルが作成される。「続行」をクリックして完了。



⑤YouTubeのトップページが表示されるので、右上の「ログイン」ボタンをクリックすると、自動でアカウントが読み込まれる。



「会社名やその他の名前を使用するにはここをクリックしてください」をクリックすると、団体名など個人の名前以外のチャンネル名を設定できる。

を作ることでそれらのサービスを共通のユーザー名とパスワードで使えるようになります。また、アカウント作成時に入力する「ユーザー名」は、そのままGoogleのウェブメールサービス「Gmail」（ジメール）のメールアドレスに使用されます。

登録の過程では「ロボットによる登録でないことを証明」という項目があり、画像に表示されている数字やアルファベットを入力する必要がありますが、違う方法で証明することも可能です。その場合は「この確認をスキップします」にチェックを入れて進み、次の画面で電話番号を入力すると電話がかかってくるので、自動音声で告げられた数字を画面に入力するという手順を踏みます。

なお、入力した「名前」はそのままユーザーの「チャンネル名」に使われます。それ以外の名称を使いたい場合はチャンネル作成画面で「会社名やその他の名前を使用するにはここをクリックしてください」をクリックし、新しく開いた画面で別のチャンネル名を設定します。



# [YouTubeに動画ファイルをアップする]

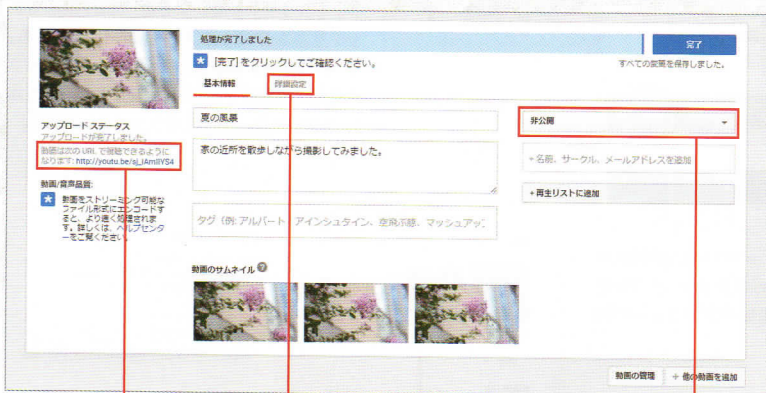


① P45 でチャンネル作成が完了するとこのようなアップロード画面になる。またはチャンネル作成後に「アップロード」ボタンをクリックしても、この表示になる。



C0029.MP4

② アップロードしたい動画ファイルをパソコンのハードディスクなどからブラウザの画面上へドラッグ&ドロップする。



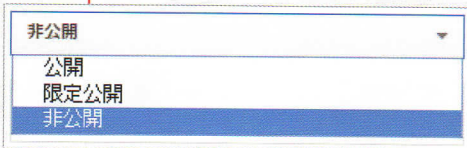
③ アップロードが始まり、進行状況がバーで表示される。その間にタイトルや説明などを入力しよう。「タグ」のところには、動画に関連するキーワードを入力すると他の人が動画を検索しやすくなるが、一般公開しない場合は入力しなくてもよい。設定を終えて「完了」を押し、すべての処理が終わるとアップロードは完了する。

**重要!**

「詳細情報」をクリックするとコメントを許可するかどうかなど、より細かい設定を行えるが、基本的には「基本情報」の設定だけで大丈夫だ。

動画は次の URL で視聴できるようになります: [http://youtu.be/sj\\_IAMilYS4](http://youtu.be/sj_IAMilYS4)

完了後、このアドレスで動画が見られるようになる。



重要なのはこの公開設定。初期設定では「公開」になっているので、このまま「完了」を押すと、世界中に公開されてしまう。アップロードされた動画を実際に見て最終確認するまでは「非公開」にしておくのがいいだろう。

## アップロード時には公開設定に注意

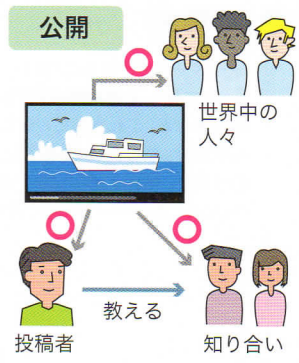
グーグルアカウントを作成しユーチューブにログインしたら、後は動画ファイルを選んでアップロードするだけです。

初期設定では15分までの動画しかアップロードすることができませんが、アップロード画面の下部にある「上限を引き上げる」をクリックし、「ロボットによる登録でないことを証明」の時と同様に電話による確認を行うことで、最長11時間、128GBまでのファイルをアップロードできるようになります。

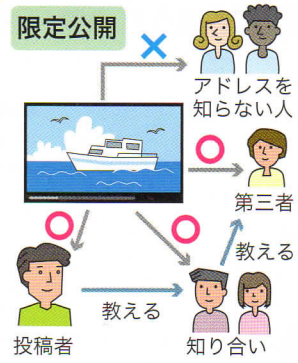
気をつけたいのは動画の公開設定。初期設定では「公開」になっているので、映像の中身やタイトル、説明文などに間違いがないか最終確認をするまでは「非公開」にしておいたほうがいいでしょう。アップロードした動画は「動画の管理」というメニュー画面で一覧することができ、ここで編集・確認を行ったり、複数の動画を選択して一気に公開設定の変更・削除などを行うことも可能です。



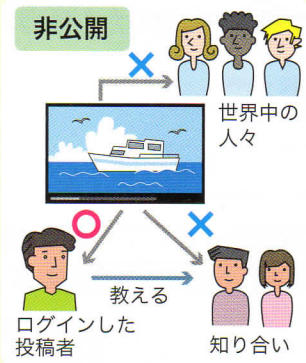
### ●公開、限定公開、非公開ってどう違うの？



誰でも自由に見られる状態。YouTube以外にも、インターネット検索やウェブサイトのリンクなどから動画に辿りつけることができる。



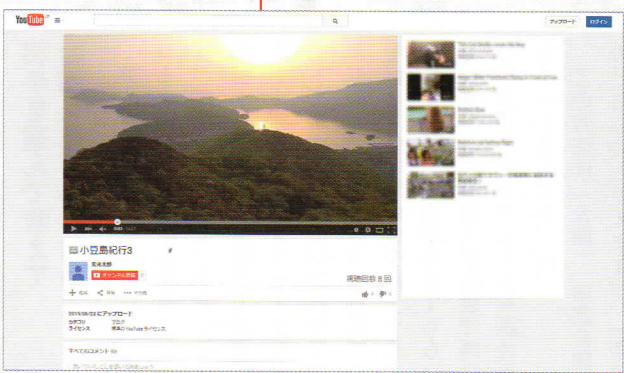
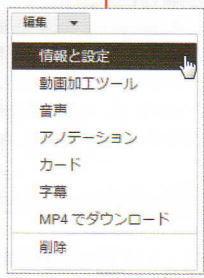
自分のチャンネルには表示されないし、検索しても見つかることはないが、アドレスを知っている人だけが見ることができる。ただし、アドレスを教えた相手が他の人にも知らせてしまう可能性がある。



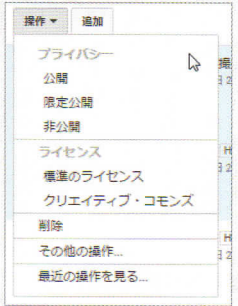
自分のGoogleアカウントでログインした場合にしか見られない。チャンネルには表示されず、検索にも引っかからない。



④アップロード完了後「動画の管理」をクリックすると、これまでにアップした動画の一覧が表示される。「編集」を押せばタイトルなどを修正できるほか、簡易的な動画加工などを行うことができる。



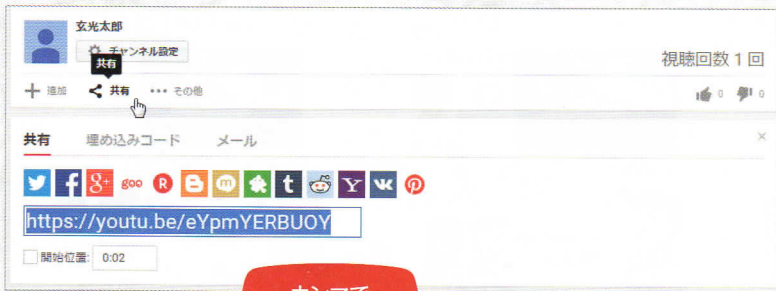
タイトルをクリックすると動画を視聴することができる。確認した後、公開または限定公開にしたい場合は④の動画の左にある□にチェックを入れ、「操作」のプルダウンから「公開」または「限定公開」を選択する。



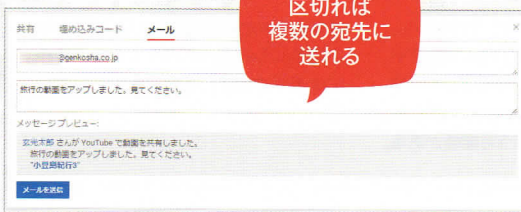


# [YouTubeにアップした動画を見る、見せる]

●動画をアップしたら他の人に教えてみよう（「公開」「限定公開」の場合）



再生ページの下にある「共有」をクリックすると、この動画のアドレスが表示される。これをコピーしてメールや文書、ウェブサイトなどに貼り付ければ、他の人がリンクをクリックしてこの動画ページに辿り着ける。



カンマで区切れば複数の宛先に送れる

また、「メール」をクリックすると、この動画ページから人にメールを送ることができる（写真上）。アカウントにログインした上で宛先のメールアドレスとメッセージを入力して「メールで送信」をクリックすると、メッセージと動画のサムネイルが挿入された招待メールが相手に届く（写真右）。



## 限定公開の「共有」は慎重に!

「限定公開」動画の場合も、同様の方法で他人に動画のアドレスを伝えて広めることができる。ただし限定公開の場合は「共有」をクリックすると「本当に共有してもよろしいですか?」と警告のメッセージが出る。自分が作成した動画、または許可をもらっている場合以外は無断で共有しないほうがいいだろう。



## 相手をを選んで教えて動画を覚えてもらう

アップロードが完了したら、さっそく知り合いに教えてみましょう。方法は2通りで、アドレスをコピーしてEメールなどで送るか、メールアドレスとメッセージを入力して送信するかいずれかです。初期設定ではフルHDの動画でもそれより低い解像度で再生されてしまうので、高画質で見たい場合は、指定の解像度で再生してほしいとメッセージを添えるといいかもしれません。

この方法は「公開」「限定公開」のどちらでも使えますが、「非公開」の動画はアップロードした本人がログインしない限り見ることはできません。ユーザー名とパスワードを仲間内で共有していれば各自ログインして見るという方法もとれますが、グーグルでは複数ユーザーによる共有は想定していません。そのため、複数の場所から頻繁にログインすると使用を一時停止されてしまう恐れがあります。セキュリティの面からも慎重になったほうがいいでしょう。

※限定公開、非公開設定の場合でも著作権には注意すること。



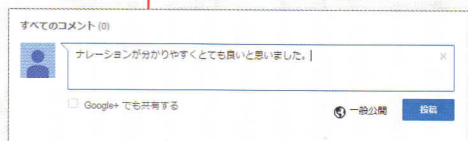
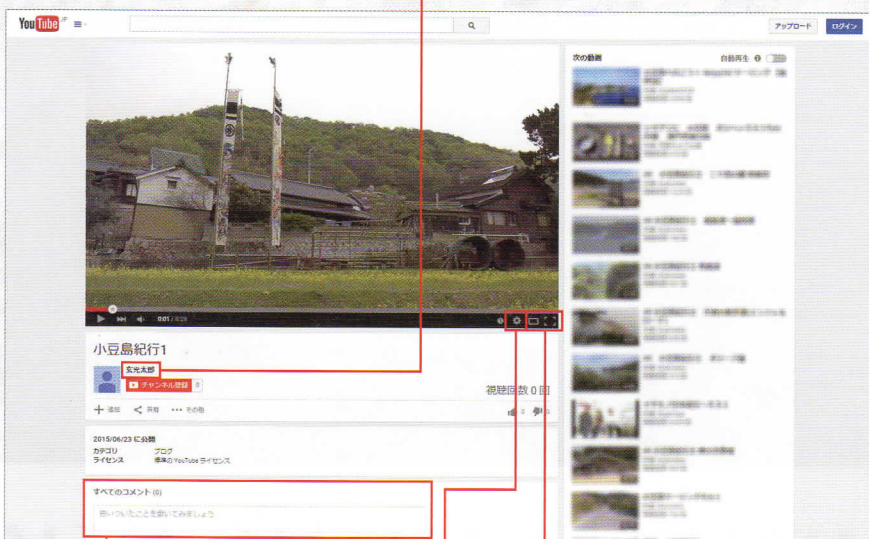
## ●動画ページへの招待を受け取ったら…



受け取ったリンクまたはメールのサムネイルをクリックすると、個々の動画の再生ページが開く。再生・停止、音量などの基本操作は公開、限定公開、非公開に関わらず同様に操作できる。



投稿者の名前をクリックするとチャンネルが開く。「動画」のタブに「公開」設定にされている動画の一覧が表示されている。



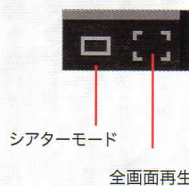
Googleアカウントを持っている人はログインすると動画にコメントを投稿することもできる。このコメントは投稿者以外の人も読むことができる。



右から2番目の□をクリックすると左右に黒みが現れて「シアターモード」になる。一番右の□をクリックすると全画面再生。



右から3番目の歯車マークをクリックすると再生の画質を変更できる。インターネット回線速度によって最適な画質が自動で選ばれるが、ここでフルHDなら1080p、4K映像なら2160p設定を選んで、より高画質で見ることが可能。



これまで「見る専門」だった人も、上映会などを補完しビデオ仲間とのコミュニケーションを活性化させる道具として、「見せたい相手に見せる」ユーチューブを使ってみてはいかがでしょうか。

初期設定では低い画質で再生されるので注意!